



平成30年11月30日  
九州地方整備局  
九州技術事務所

## 研修用実モデル施設検討WG（第2回）開催 ～国土交通省初のVRを用いた会議～

国土交通省九州地方整備局九州技術事務所では、研修用実モデル施設検討WG（第2回）を下記の通り開催いたします。

- 日 時：平成30年12月5日（水）15時00分～17時00分
- 場 所：国土交通省 九州地方整備局 福岡第2合同庁舎 10階 打合せ室2  
（福岡市博多区博多駅東2丁目10-7）

九州技術事務所では、「実物大の研修用堤防」と「VR（仮想空間上の堤防）」を組み合わせることで効率的に堤防の維持管理・災害対応が学べる研修施設を検討中です。

今回のWGでは堤防の設計図を基にVRの堤防を仮想空間上に構築し、「モノを作る前に体験し議論する」ことで、より良い設計を行う国土交通省初となる試みです。

当日はWG委員にHMD（ヘッドマウントディスプレイ）を装着してもらい、仮想空間で「制作予定の堤防」を体験、議論していただく予定です。

### 【お問合せ・取材申込み】

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所  
〒830-8570 久留米市高野1丁目3番1号  
TEL0942-32-8245（代表）

技術情報管理官 ふさまえ 房前 かずとも 和朋（内線303）

取材申し込みがなくても当日取材可能です。

## <参考> VRを用いた「モノづくり」

従来、建設分野の設計は「平面図」「横断図」など、「2次元の図面」で行って来ました。

技術者はこれらの2次元の図面から、頭の中で「できあがり」をイメージして設計や協議を行って来ましたが、正確にイメージするのは熟練の技術者でも難しい場合がありました。

まして「設計を専門としない技術者」や「住民の方」などを対象とした場合、多くの場合図面から出来上がりを想像し、物事を判断するのは難しい場合と考えています。

そこで九州技術事務所ではVR技術をもちいて、仮想空間にまったく設計と同一な構造物を構築し、HMD（ヘッドマウントディスプレイ、仮想空間に入ることができる特殊なメガネ状の機械）を用いることで「その構造物を体験する」ことで、誰でも容易に構造を理解し、様々な判断を行う仕組みを構築しました。今回の会議では、この仕組みを初めて実用（外部委員が参加するWGでの利用）いたします。（調査した範囲では、建設分野において我が国初の試みです。記者発表では控えめな表現にさせていただきます。）

また国の機関では「ペーパーレス会議」は、（九州技術事務所では調査した範囲では）実施されていませんが、本WGでは「ペーパーレス会議システム」にて実施します。



ペーパーレス会議試験運用状況



HMD、今回のWGでは全委員分を用意